

Title	市川統洋君の死を悼む
Sub Title	
Author	十時, 巖周(Totoki, Toshichika)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1979
Jtitle	法學研究 : 法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.52, No.10 (1979. 10) ,p.130- 130
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19791015-0130

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

市川統洋君の死を悼む

法学部長 十 時 嚴 周

慶應義塾大学法学部助教授市川統洋君は昭和五十四年九月三十日夕国立東京第二病院で急逝した。病名は汎発性腹膜炎、享年四十四歳であつた。法学部在職期間は六年六ヶ月、決して長い期間ではなかつた。その間、『法学研究』、『慶應政治学ジャーナル』(欧文誌)の法学部機関誌には四編の論文を掲載している。

市川統洋君は昭和十年六月二十七日信州伊那に生まれ、長野県立伊那北高校から本塾経済学部に入學、高村象平教授の研究會に卒業論文『歴史における普遍と個別の展開——歴史社会学の考察』を提出、卒業後富士銀行に入行、二年後、本塾大学社会学研究科修士課程に入學した。大学院では佐原六郎教授の指導を受けた。

大学院在学中カリフォルニア大学バークレイ分校大学院社会学部に留學、ウィレンスキー、デボス、グレイザーの諸教授の指導を受け、昭和四十年、同大学院社会学修士の学位を取得、直ちにミネソタ州セントメアリー大学社会学部の講師および助教授として二年六カ月教職に従事している。その頃、カトリッ

クに入信、以後、生涯熱心なカトリック教徒として行動した。昭和四十三年帰國、貿易研修センター(貿易大学)助教授として「地域研究」部門の主任となる、国際企業環境論、アメリカ社会経済論を担当、研究テーマとしては、(一)企業と社会的責任、(二)企業者精神と企業イデオロギー、(三)知識人と政策、(四)プロフェッションナリゼーションと社会構造、等の『政策科学』の領域に強い関心を示しこの領域での専門論文の発表ならびに学会報告をおこなつている。

昭和四十八年四月、本塾法学部専任講師に任用、同五十一年助教授に昇進、この間、招聘されコーネル大学訪問研究員となる。この頃より、ミクロの政策科学からマクロの社会分析、とりわけ、高度工業化社会におけるプロフェッション(専門職)と階級状況の関連性に関心が移行したように思われる。コーネル滞在中、同君と同世代の英国人社会学者アンソニー・ギデンズと接触、同氏の名著『先進社会の階級構造』に傾倒し、苦心の末、昭和五十二年一月同書の翻訳を出版した。最後の仕事であつた。

昭和五十四年十月二日、同君の遺体は、コーネル滞在中の家族全員の写真数葉およびギデンズの翻訳書とともに茶毘に付された。

悲しい哉。